

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社埼玉種畜牧場	事業所名	埼玉種畜牧場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ( )	各直営店への配送荷物を、物流センターに集約しての一括納品による、コスト削減の実施。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ( 01 ) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	①積載効率を考えた納品の実施②包装材の改良により製品の賞味期限の長期化に成功し、納品頻度及び便数を削減数ことができた。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ( 03 ) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	店舗への配達の際、小規模店舗への配送時は、軽保冷車を使用し、使い分ける。			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化	タイムスケジュールによる運行管理の徹底。			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ( 02 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	渋滞情報が確認できるナビを導入し、効率の良い輸送経路の利用。			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ( 03 ) 輸送車両の待ち時間の削減	納品スケジュールを、一括管理し無駄な待ち時間なく配送できるような運行体制となっている。			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ( 04 ) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	社内での車両保管場所として、屋根下の日陰スペースを確保することで、保冷車始動時の庫内温度上昇が、比較的低くなっており、荷物積み込み可能となる温度に下がるまでのアイドリング時間を短縮できている。	○	○	○
---	--	---	---	---

### 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	株式会社埼玉種畜牧場		事業所名	埼玉種畜牧場		
取組措置	具体的取組措置			R3	R4	R5
02 公共交通機関への転換の推進 ( 01 ) 公共交通機関利用促進のための情報提供	乗り入れを実施している路線バスの時刻表を作成し、(お客様用も含め)配布できる状態にしている。			○	○	○
03 自転車への転換の推進 ( 02 ) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	従業員用の屋根付き駐輪所の設置、採用時の条件にも明記している。			○	○	○
05 エコドライブの推進 ( 01 ) エコドライブの啓発	従業員へのアイドリングストップの実施要請			○	○	○
07 時差通勤の実施 ( )	短時間勤務制度を設けており、育児等で短時間勤務する場合、出退勤時間をずらしている。			○	○	○